

公益財団法人 国際医療財団、一般社団法人 国際歯科医療安全機構 共催  
医科、歯科医療従事者、介護福祉事業者向け

## 【緊急開催】新型コロナウイルス感染対策セミナーのご案内

ご挨拶

SARS-COV-2 Omicron 株がわが国でも猛威を振るい始めております。医療福祉関係従事者は新しい局面を迎えて、その対応に一方ならず苦慮されておられることと拝察致します。今回のコロナウイルス、特にオミクロン株の特徴は感染力が猛烈に強く重症化率が比較的低いと言われてはいますが、確たるエヴィデンスもないまま欧米を中心として驚くべきスピードで感染者も死者も増加しつつあります。

今回の所謂新型コロナウイルス災厄が顕在化して間もなく SARS-COV-2 ウイルスの多数の受容体が唾液腺あるいは口腔粘膜に分布し、COVID-19 の最大の感染現場であることが阪井ら、槻木らを始めとして日本の歯科医学研究者から指摘されており、口腔を診療フィールドとする歯科医療、特に口腔外科医療現場は最も感染拡大リスクが高いと認識されます。しかし現実には今まで歯科医療機関からは1~2例のクラスターが発生しているに留まっております。何が良かったかと言われても誰も解答できませんが、医科医療から乖離傾向があるなかで、最もリスクが高いとされる歯科医療において感染対策が結果的に先行していると社会から注目されていることは有難いことです。

そこでオミクロン株による感染急上昇で世界各国が対策の方向性を失っているさなかに緊急のセミナーを催して、日夜奮闘されている医療者、歯科医療者、介護福祉関係者の参考に供したいと思ひ立ち、感染対策の第一線に立ってご活躍の先生方からの最新情報を共有するべくこのセミナーを企画いたしました。特別講師として東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野教授、厚労省新型コロナクラスター対策班、東京都 CDC アドバイザリーボードを兼任され最前線でご活躍中の小坂健先生にお願いし、特にオミクロン株に関する最新情報を提供していただきます。そして予てより歯科医学領域に多大なご指導を頂戴しているバイオメディカルサイエンス研究所 (BMSA) 理事長瀬島俊介先生にはわが国のウイルス感染対策について包括的に話しいただき、それに鶴見大学口腔内科教授里村一人先生、東北大学口腔外科教授高橋哲先生をお招きして現在推進中の COVID-19 対策を中心として感染現場となる口腔顔面医療現場での注意すべき事柄を具体的にご講演頂きます。

本セミナーの開催にあたっては医療者特に眼科、耳鼻咽喉科、口腔外科、歯科の先生方に、さらにリハビリ関係、介護福祉関係にも呼び掛け、口腔を感染現場とするウイルスの感染拡大防止策についてあらゆる領域の方々が語り合う共通の広場にしたいと考えております。

甚だ慌ただしく恐縮ですが、関係各位のご参加をお願い申し上げます。

令和3年1月20日

公益財団法人 国際医療財団、一般社団法人 国際歯科医療安全機構  
理事長 瀬戸暁一

## 1. 開催日時：

令和4年2月12日（土）13：30～15：00 オンライン開催

## 2. 講師ならびに講演演題

導入ならびに総括討論司会：

総合南東北病院歯科口腔外科 瀬戸皖一

### 講演1

東北大学大学院歯学研究科 教授 小坂 健

「COVID-19 への対応 –オミクロン株へどのように対応すべきか–」

オミクロン株の感染急拡大が始まっている。感染者や濃厚接触者の急増により、医療・介護施設のみならず、ライフラインへの影響も懸念されている。ワクチン接種も進んだが、新しい株の出現に、我々の対応も変化・進化させていく必要がある。今、どのような対応が求められるのか、一緒に考えたい。

### 講演2

認定NPO法人バイオメディカルサイエンス研究会 理事長 瀬島俊介

「洗口液による新型コロナウイルス感染症予防」

MA-T 洗口液(要時生成型亜塩素酸水を主成分とするもの)について、新型コロナウイルスの感染に効果があることが、大阪大学の阪井教授らの研究報告がなされている。うがい薬・洗口液の効果については安全性・有効性・持続性が求められており、ポピドンヨード、クlorルヘキシジン、CPC、次亜塩素酸水等を含めてご紹介します。

### 講演3

鶴見大学歯学部口腔内科学講座 教授 里村一人

「微量唾液を検体とした SARS-CoV-2 迅速スクリーニング検査開発の現状」

オミクロン株の出現と感染者の急劇な増加を受けて、SARS-CoV-2 感染を把握するための簡便かつ迅速なスクリーニング検査の確立と普及が重要となってきた。これを踏まえ、微量の唾液を検体とした迅速検査法開発の現状と今後の展望につき概説する。本講演では併せて、新規表面ガラス化技術を応用したサージカルマスク不織布フィルター表面の抗ウイルス化技術についても併せて紹介する。

### 講演4

東北大学大学院歯学研究科顎顔面・口腔外科学分野 教授 高橋 哲

「口腔・顎顔面領域における COVID-19 の感染対策」

COVID-19 の重要な感染経路として飛沫感染が考えられている。日常の歯科診療ではエアタービンの使用などによりエアロゾル感染が起りやすい環境にある。われわれがどのようにエアロゾル感染を予防すべきか、エアマネジメントの概念を中心に考えてみたい。

3. 受講料(参加費) 3000 円 参加費は公益財団国際医療財団への寄付とさせていただきます。